

# 保健体育科学習指導案

指導者 広島市立〇〇中学校  
教諭 〇〇 〇〇

- 1 日 時 平成19年11月〇日 (〇) 〇校時
- 2 学 年 第1学年〇組 男子〇名
- 3 場 所 〇〇中学校 体育館
- 4 単 元 名 球技 「バスケットボール」
- 5 単元について

バスケットボールはゴール型の球技であり、コート内で敵味方が入り乱れてボールを奪い合い、相手ゴールへシュートして得点を競うスポーツである。激しい運動が続く仕組みとなっており、スピード感あふれる球技だが、体の接触が禁止されているため、多彩な動きと変化への敏感な対応、そして、頭脳的判断が要求される。1つのボールを奪い合い、高い位置にあるゴールに得点することは容易ではないが、チームの攻撃と防御の作戦を立てるおもしろさや、得点を決めたときの個人またはチームの達成感を感じることができる。しかし、ゲームを行うために前提となるシュート、パス、ドリブルという個人技術の習得に時間がかかるのも事実である。

本単元が球技スポーツということもあり、生徒は興味・関心をもっている。また、小学校においてポートボールをはじめとしたバスケットボール型のゲームは経験していると考えられる。しかしながら、当然、技術・戦術的な認識や技能においては未熟である。本学級はお互いを認め合いながらいろいろな意見を活発に言い合える雰囲気をもっており、授業への意欲は高い。

そこで、まず、シュートを決める喜びを体感させることから指導していきたい。そして、シュートへ結びつけていく戦術を獲得させ、バスケットボールの魅力を味わわせたい。また、その学習過程を通して「わかる」を意識させながら、人のプレーを見る力、分析能力を養い、自分なりのコツを見いださせたい。そして、だれにも「できる」を実感させていきたい。とりわけ、シュート技術を中心に身につけさせるためにドリル的に学習し、その後に、誰でもうまくなるということを意識させながら指導していきたい。

## 6 単元の目標

- シュートを中心とする個人的技能を高める。
- 自分や仲間の動きを分析する力を養い、アドバイスができる。
- 自分やチームの課題の解決に向けた方法を工夫し、楽しさを味わうことができる。

## 7 単元の評価規準

ア 運動への 関心・意欲・態度	イ 運動についての 思考・判断	ウ 運動の技能	エ 運動についての 知識・理解
①積極的に練習やゲームに取り組むことにより楽しさや喜びを味わおうとする。 ②互いに協力し、励まし合いながら練習を行おうとする。	①自分や仲間の動きを分析し、課題を明らかにし適切なアドバイスができる。 ②仲間からのアドバイスを聞き、実践しようとしている。	①パス、ドリブル、シュートの基本動作を身につけることができる。 ②シュートの確率を上げることができる。 ③簡易な戦術を使いゲームをすることができる。	①バスケットボールの個人技能や戦術を用いて攻防を楽しむ特性があることを理解する。 ②ルールや審判法を理解する。

8 指導計画（全 10 時間）

時間	学 習 内 容	評 価					
		関	思	技	知	評価規準	評価方法
1	・オリエンテーション ・特性とルールを理解 ・学習の進め方				○	バスケットボールの個人技能や戦術を用いて攻防を楽しむ特性があることを知っている。	行動観察
2   4	・パス、ドリブル、シュートの基本動作について知り、コツをつかむ。  (本時 3 / 10 時)	○				互いに協力し、励まし合いながら練習を行おうとする。 自分や仲間の動きを分析し、適切なアドバイスができる。 仲間からのアドバイスを聞き、実践しようとしている。 パス、ドリブル、シュートの基本動作を身につけることができる。	行動観察 行動観察 学習カード 行動観察
5   9	・個人技能や簡易な戦術を使い、ゲームを楽しむ。		○			パス、ドリブル、シュートを場面に応じて使い分けることができる。 シュートの確率を上げることができ、簡易な戦術を使いゲームをすることができる。 仲間からのアドバイスを聞き、簡易な戦術を用いてゲームをしようとしている。 ルールや審判法を知っている。	行動観察 行動観察 学習カード
10	・スキルテストを行う。			○		練習やゲームで状況に応じてシュートやパス、ドリブルができる。	行動観察

9 本時の展開

(1) 本時の目標

- 自分や仲間の動きを分析し、積極的にアドバイスをすることができる。
- レイアップシュートのリズムがわかり、手の動きと足の運びをうまく連動することができる。

(2) 観点別評価規準

- 運動についての思考・判断
  - ・ 自分や仲間の動きを分析しようとしている。
- 運動の技能
  - ・ レイアップシュートの基本動作を身につけることができる。

(3) 準備物

- ・ バスケットボール
- ・ デジタルタイマー
- ・ ミニハードル
- ・ ホワイトボード
- ・ カラーコーン
- ・ 学習カード

(4) 学習の展開

学 習 活 動		指 導 上 の 留 意 点	評 価 規 準	評 価 方 法
導 入 10 分	1 集合・挨拶・出欠確認	・大きくしっかりとした動作で取り組ませる。		
	2 準備運動・補強運動			
	3 学習のねらいの確認			
セットシュートより確率の高いシュート（レイアップシュート）ができるようになろう				
展 開 35 分	4 セットシュート	・前時のポイントを思い出させる。 ボールの当てどころはどこか。 角度は何度か。		学習カード  行動観察
	5 レイアップシュート ・ワンツージャンプ ・跳び越えワンツージャンプ ・手渡しワンツージャンプ	・できる人の動きをまねさせながらレイアップシュートのリズムを見つけさせる。 ・仲間の動きを分析し、意見交流させるとともに自己の動きを分析し、実践させる。 ・走り込んでくる角度に気をつけさせる。		
	6 ドリブルレイアップシュート	・ドリブル後のキャッチのタイミングを意識させる。 ・足の動きと手の動きのバランスを意識させる。		
ま と め 5 分	7 本時の反省と課題の確認	・学習のねらいをもとに自己の学習を振り返り、自己評価を記入させる。		
	8 次時の予告	・次時の目標をもたせる。		
	9 集合・整列・挨拶			